

# 病理検査サーベイ実施の手引き

## I.概要と資料の取り扱い

病理検査のサーベイは標本作製：脱灰操作を含む標本作製を実施します。

[資料]

ホルマリン固定骨髄組織(PBS で保存)、スライド、スライドケース、標本作製手順記入用紙、アンケート用紙を配布します。

## II.サーベイ実施方法及び注意事項

1. 試料受け取り後、まずは一晩程度ホルマリン固定を追加してください。
2. 配布した骨髄組織を脱灰後、パラフィンブロックを作製、薄切し、切片を配布したスライドに貼付してください。脱灰操作はパラフィンブロック化後の表面脱灰法でも構いません。必ず脱灰操作を行い標本作製してください。
3. 包埋カセットは貴施設の包埋カセットを使用してください。
4. 使用するスライドは貴施設で使用しているものでも構いません。ただし、必ず剥離防止コーティングスライドを使用してください。
5. 薄切及び HE 染色は貴施設の日常的な方法で行なってください。ただし切片の厚さは 3-4 $\mu$ m 以下 をお願いします。薄切後のブロック表面はパラフィンコーティングを行わないでください。
6. 標本は必ず 2 枚作製し、1 枚は HE 染色を施し、もう 1 枚は未染色の状態にしてください。
7. 標本作製手順記入用紙には貴施設の作製手順、使用している脱灰液等を詳細に記入してください。
8. 薄切を行ったスライドはケースに入れ、作製ブロック、標本作製手順記入用紙、アンケート用紙を同封されている封筒にて返信してください。

\* スライドは 2 枚送付します。必ず HE 染色 1 枚、未染色 1 枚をセットにしてください。

## III.問い合わせ先

病理検査精度管理調査に関する不明な点、疑問点等についての問い合わせは施設名、担当者名を明記の上、FAX または E-Mail で下記の担当者までお願いいたします。

岐阜大学医学部附属病院

病理部 片桐恭雄

FAX : 058-230-7244 E-Mail : ykata@gifu-u.ac.jp